

リポートかわいキャンブ

2011.11.2
第50号
盛岡市災害
ボランティアセンター



キャンブ利用状況 (11月2日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 4,157 名 *11/1 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	11/2	3	4	5	6	7	8
曜日	水	木	金	土	日	月	火
宿泊者	23	35	35	33	23	14	14
活動者	29	28	43	38	28	17	15

復興支援車両キャンブに配備

- ◆ 10月26日、岩手日野自動車㈱さんから盛岡市を通して復興支援車両の利用提供がありました。積載量3トンのハイブリットトラックでキャンブと沿岸被災地間の物資等の運搬に使わせていただきます。また、11月1日にはNPO法人もりおか中津川の会さん(理事長 川村 登さん)とSAVE IWATEさん(代表 寺井良夫さん)のご協力により、25人乗りマイクロバスの利用提供がありました。かわボラさんの送迎車両として使わせていただくこととなります。いずれも、キャンブの開設期間中お借りするもので、キャンブの機動性が高まることとなります。



積載量3トトラック



25人乗りマイクロバス

宮古市の写真洗浄にかわボラさん出動！

- ◆ このほど、宮古市生活復興支援内で収集された写真、アルバムた。10月31日に、かわボラの旧給食室で、富士フィルムの明を受け、早速作業に入りました。
- ◆ かわボラさんにとっては、山田しており、得意(?)としていまは作業を終えたいということ支援します。



写真洗浄作業の様子(宮古小)

センターから、震災後に宮古市等の洗浄作業の要請がありましさんは作業場となる宮古小学校専門家から処理方法について説た。町や大槌町でもこの作業を経験す。センターでは、12月までにです。キャンブは、継続して支



キャンプ利用状況 (11月4日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 4,217 名 *11/3 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	11/4	5	6	7	8	9	10
曜日	金	土	日	月	火	水	木
宿泊者	37	36	25	15	15	18	14
活動者	51	45	30	18	16	30	26

■ もっと地元の支援を ! ■

- ◆ 活動される方の人数は、8月、9月に比べますと、もちろん全体的に少なくなってきておりますが、各日活動される方の人数は宿泊される方の人数を上回る日が続いております。今後1週間活動される方の状況をみますと、約2割の方が盛岡市内にお住まいの方を中心に日帰りにより活動するボランティアさんです。
- ◆ これから本格的な寒さに迎えるにあたって、また復興を確かなものとするためには、全国各地から駆け付けていただく方々からのご支援を得る一方で、地元岩手県の方々からの支援がもっと必要です。
- ◆ きょう4日は、宮古市には仮設住宅集会所のサロン活動と宮古小学校での写真洗浄で、山田町には中央町地区の瓦礫撤去で、大槌町には大槌町ふれあいセンターの瓦礫撤去とマスト倉庫内のごみ搬出・廃棄作業で出掛けました。なお、宮古市の仮設住宅集会所のサロン活動には、盛岡市の民生委員さん9名がサロンボランティアとして日帰りで参加しております。

■ かわボラさん こんどは声の出演 ■ ■ エフエム岩手「ふるさと元気隊」の取材 ■

- ◆ 2日夕方、ふるさと元気隊の番組スエました。この番組は、10月17(盛岡市内丸)内に開設したエフエ局「さっくらスタジオ」から発信し(千葉県)、古橋さん(栃木県)、国村海道にインタビューを受けていたンティアを志した理由やボランテて熱く語っていました。



インタビューに答える濱野さん

タッフがキャンプの取材に見日盛岡市復興支援センターム岩手ふるさと元気隊盛岡支ています。今回は、濱野さん純二さん・野々花さん親子(北だきました。皆さんは、ボラィア同士の繋がりなどについ

- ◆ この収録の On Air は、7日(月) と 14日(月) の 15:00 から 15:55 までの「ふるさと元気隊 Monday 盛岡さんさ FM」の中で各5分間放送されます。くれぐれも、お聞き逃しのないように。

リポートかわいキャンプ

2011.11.6
第52号
盛岡市災害
ボランティアセンター



キャンプ利用状況 (11月6日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 4,290 名 *11/5 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	11/6	7	8	9	10	11	12
曜日	日	月	火	水	木	金	土
宿泊者	20	17	18	20	15	16	26
活動者	31	17	18	32	27	24	39

■ かわいキャンプの晩秋！ ■

- ◆ 11月に入り、朝夕の気温もめっきり低くなり、川井の景色はすっかり晩秋の装いを呈しています。キャンプ周りの木々や山のたたずまいも3ヵ月経つとすっかり変貌します。掲揚塔の脇に聳える銀杏は晩秋の陽を浴びて真黄色に輝き、あたかもキャンプのシンボリツリーのような存在感を示しています。その左右に並ぶ桜の木の葉っぱやグラウンドの雑草までもすっかり秋色となり、閉伊川対岸の彩られた山々は柔らかい日差しに包まれています。この時期、あの灼熱の夏の日差しには懐かしささえ覚えます。



真夏のキャンプ (2011.8.7)



晩秋のキャンプ (2011.11.4)

■ ありがとうございます！ 橋本会長さんから差し入れ ■

- ◆ キャンプの開設・運営にあたってご上川井地区振興会橋本会長さんからりました。これまでも地元の方々かな野菜やキノコなどを何回となく差さっそく料理自慢のボランティアさ



支援ご協力をいただいている地元「シイタケ」1箱の差し入れがあらは、かわボラさんのために新鮮し入れしていただいております。んが調理し、皆に振る舞われました。



キャンプ利用状況 (11月8日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 4,327 名 *11/7 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	11/8	9	10	11	12	13	14
曜日	火	水	木	金	土	日	月
宿泊者	18	20	15	16	26	11	13
活動者	18	32	27	24	39	16	20

■ クリスマスツリー 大募集 ! ■

- ◆ キャンプでは、かわボラ知念さん(埼玉県/キャンプ休学中)の提案で、宮古市の仮設住宅集会所 28 カ所にクリスマスツリーを贈るという「X'mas tree プロジェクト」を進めています。新品に限らず、子供が大きくなって今は使っていない、しばらく押入れに入れたままで使っていないなど、活用されていないものでも結構ですので、ぜひキャンプまでお送りください。
- ◆ 勝手ながら、ツリーの大きさや附属品、申込方法その他参考となることについては、かわいキャンプ公式ブログかわいキャンプ日誌 (11月7日 up) に詳しく載せておりますのでご覧ください。すでに、休学中のかわボラさんおふたりからはツリーをお送りいただいております。

■ キャンプ「目立ちたいプロジェクト」第4弾 ■

- ◆ キャンプ「目立ちたいプロジェクト」第4弾、キャンプの名前が入った横断幕が完成し、きのう7日キャンプ3階のベランダに掲げられました。この立派な横断幕は、キャンプ開設の盛岡市が作製したもので、きのうの夕方、復興推進部の職員さんが張り出しに見えられました。秋も深まり葉っぱも落ち始めた木々の合間からも見えます。存在感を示すこと請け合いです。



リポートかわいキャンプ

2011.11.11
第54号
盛岡市災害
ボランティアセンター



キャンプ利用状況 (11月11日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 4,395 名 *11/10 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	11/11	12	13	14	15	16	17
曜日	金	土	日	月	火	水	木
宿泊者	20	31	14	16	15	19	20
活動者	28	44	22	23	15	22	29

3.11 からきょうで 8 ヶ月

- ◆ きょう 11 日で、3.11 から 8 ヶ月経ちました。岩手県内では亡くなられた方が 4,665 名、依然として行方不明の方が 1,427 名となっています。本格的な冬を前に集中的な捜索が続けられています。また、宮古市の瓦礫の一部の処理を東京都が受け入れ、被災地市町村の復興計画の策定も進められるなど、古里の復興に向けた具体的な動きが始まっています。
- ◆ 近頃、宮古市では仮設住宅と市街地を結ぶバス路線が新設され、産直が移動販売で仮設住宅等を巡回。山田町では仮設住宅向けの買い物バスが試験運行を開始し、船越に名物「復興かき小屋」が新装オープン。大槌町では安渡の町魚市場が再開され、上町に町民の方々が主体の「おらが大槌復興食堂」が開店するなど、生活の復興を支援する被災地の力強い動きがあります。
- ◆ 8 日に立冬を迎えたばかりのきのうの朝は、上空の寒気と放射冷却現象によって気温が下がり、キャンプの草木も初霜に覆われました。宮古市では「みなし仮設」にお住まいの世帯に、山田町では「在宅者」の世帯に石油ファンヒーターが支給されており、大槌町では「在宅被災者」の世帯に反射式ストーブが配布されています。
- ◆ 被災地の方々が、住み家を定め、仕事に就き、そして自身による地域社会づくりを行うことができるような暮らしの復興には長い時間を要します。また、そのスピードも人により異なります。私たちボランティアには、被災された方々が社会的な繋がりを保ちながら未来への希望を持ち続けることができるよう、相手の気持ちに沿った支援活動を継続して行うことが求められています。

リポートかわいキャンプ

2011.11.13
第55号
盛岡市災害
ボランティアセンター



キャンプ利用状況 (11月13日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 4,457 名 *11/12 宿泊分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	11/13	14	15	16	17	18	19
曜日	日	月	火	水	木	金	土
宿泊者	17	19	20	23	24	19	21
活動者	32	26	22	26	33	21	20

■ 地元の食改^{しょっかい}さんから炊き出し ■

- ◆ このほど、キャンプ地元の宮古市川井食生活改善推進員協議会さん（会長 柳渡広子さん）から、かわいキャンプ「感謝の夕食会」の開催についてご案内をいただきました。この夕食会は、被災地でボランティア活動をされるかわボラさんやスタッフに対して感謝したいということで開かれるものです。当日は、キャンプ調理室で地場産物を使った郷土食をいただきながら、食生活改善推進員の方々と懇談しようとするものです。
- ◆ キャンプでは、当日のおもてなしを楽しみにしています。かわボラさん多数の参加をお待ちしています。

- ▶ 日時 12月3日（土） 17:30 ～ 18:30
- ▶ 場所 かわいキャンプ 調理室
- ▶ 参加者 ボランティア、職員、川井食生活改善推進員の皆さん

■ 東京・文京区の区長さんキャンプ来訪 ■

- ◆ 11 日午後、東京都文京区長成澤廣修さんと同区危機管理室防災課長松永直樹さんが、盛岡市消防防災監（消防本部消防長）高橋賢一さんとともに、キャンプの視察に訪れました。
- ◆ 区長さんは、10 日盛岡市との災害時相互応援協定の締結のため来盛されたものです。盛岡市と文京区とは、歌人石川啄木の生誕の地と終焉の地という縁で、これまでも文化交流を行っています。今回加えて、災害時でも連携し交流を深めようとするものです。この日は、沿岸被災地を視察された後に、キャンプを訪れたものです。



左から高橋防災監さん、成澤区長さん、1人おいて松永課長さん

リポートかわいキャンプ

2011.11.15
第56号
盛岡市災害
ボランティアセンター



キャンプ利用状況 (11月15日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 4,492 名 *11/14 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 4,657 名 *11/14 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	11/15	16	17	18	19	20	21
曜日	火	水	木	金	土	日	月
宿泊者	20	23	25	20	22	12	10
活動者	21	26	33	22	21	17	11

■ ありがとうございました！ X' mas tree プロジェクト ■

- ◆ かわボラ知念光二さん(埼玉県)の呼びかけで、宮古市の仮設住宅集会所28カ所にクリスマスツリーを贈るという「X' mas tree プロジェクト」を進めていましたが、全国の方々からのご協力により予定数量に達しましたので、はなはだ勝手ながら本日をもって募集を閉じさせていただきます。ありがとうございました。
- ◆ かわいキャンプ公式ブログかわいキャンプ日誌(11/15up)にその旨載せておりますので併せてご覧ください。
- ◆ 仮設住宅には、宮古市生活復興支援センターを通じて12月3日に届ける予定です。



右端が呼びかけ人の知念さん(11/12撮影)

■ キャンプに無線 LAN 環境を整備 ■

- ◆ このほど、キャンプではかわボラさんから無線ルーターを提供いただき、スマートフォンやパソコンを快適に利用できるようになりました。TV からインターネットへの接続も可能となります。使用場所は、食堂に限らせていただきますのでよろしくお願いします。





キャンプ利用状況 (11月18日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 4,563 名 *11/17 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 4,740 名 *11/17 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	11/18	19	20	21	22	23	24
曜日	金	土	日	月	火	水	木
宿泊者	21	24	16	11	13	17	13
活動者	25	25	21	12	12	13	17

■ 日帰り活動が増えています ■

- ◆ このところ、キャンプでは日帰りで活動に参加される方が増えてきております。本格的な寒さを迎え、特に地元岩手県内、盛岡市内の方々の日帰りの支援活動への参加を期待し、盛岡市社協のホームページやキャンプのブログ、チラシ等で呼び掛けていたところですが、先月から徐々に増加しております。10月では延べ46名、11月(11/18申込現在)では延べ115名の日帰り活動をする方の予定が入っております。
- ◆ バス利用での日帰り活動プランを右に紹介しておきます。ぜひキャンプまたは盛岡市社協までご相談ください。



— かわいキャンプ日帰り活動プラン (106 急行バス利用) —

<事前に**かわいキャンプ利用申込**が必要です>

5:45	(バス) 盛岡駅東口②番から106急行宮古行き乗車
7:12	上川井停留所で下車
7:15	徒歩でかわいキャンプ到着 (受付を行います)
8:00	オリエンテーション (当日の活動内容の説明を受けます)
8:15	かわいキャンプの車両で活動場所へ出発
9:30	活動先ボランティアセンター到着
10:00~ 15:00	ボランティア活動 (昼食時間を含む)
15:30	活動先ボランティアセンター出発
17:30	かわいキャンプ帰着
18:39	(バス) 上川井停留所から106急行盛岡行き乗車
20:10	盛岡駅前 (東口) 到着

※バス (106 急行) 運賃は片道 1,410 円です。【盛岡駅前 ⇄ 上川井】
 ※現地活動場所の天候等により活動が中止となる場合があります。
 ※自家用車でお出での場合は、7:30 までにキャンプに到着されるようお願いします。



キャンプ利用状況 (11月21日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 4,634 名 *11/20 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 4,821 名 *11/20 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	11/21	22	23	24	25	26	27
曜日	月	火	水	木	金	土	日
宿泊者	18	20	24	20	16	17	10
活動者	22	19	21	23	23	17	11

■ 吉田戦車さん作「まんが親」にキャンプ登場 !! ■

- ◆ 現在発売中のビッグコミックオリジナル 23 号(12/5 号)
「まんが親」第 41 話に、キャンプとシンボルマーク「ヨミガエルくん」が登場しています。まんが親は、岩手県奥州市出身の吉田戦車さんと伊藤理佐さんの漫画家ご夫婦の実録子育てストーリーで、戦車さんが同誌に連載で描いているものです。今回は、特にこの漫画の単行本第 1 集の発売(11/30)を記念して巻中カラー4Pで掲載されています。
- ◆ 10 月上旬、被災地の支援のため「岩手漫画家応援ツアー(一行 18 名)」としてキャンプに宿泊し大槌町で活動した際のエピソードを交えながら、ご夫婦の子育てに奮闘する姿を描いています。漫画の冒頭には、シッカリとかわいキャンプを紹介していただきました。



「まんが親」が掲載のビッグコミックオリジナル 23 号

■ 健康管理は万全に。 ■

- ◆ 岩手県上空に強い寒気が入り、冬型の気圧配置が強まっています。今年の初冬は寒暖の差が大きく、宮古市のきょうの気温は最低が 0.8℃、最高が 6.4℃で、きのう 20 日に比べて最低で 11.9℃、最高で 12.6℃も低くなりました。外気の変化に負けない健康管理が必要です。また、キャンプでは朝方の冷え込みが厳しいことから、防寒用衣類の着用などしっかりとした寒さ対策が欠かせません。



キャンプ利用状況 (11月23日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 4,674 名 *11/22 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 4,862 名 *11/22 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	11/23	24	25	26	27	28	29
曜日	水	木	金	土	日	月	火
宿泊者	29	24	18	19	16	11	12
活動者	27	28	23	20	18	12	15

■ X' mas リース ありがとうございます !! ■

- ◆ 盛岡市玉山区の児童館の職員
作し、託された盛岡市社協の
22日キャンプに持参しまし
た手作りのもので、宮古市の
に贈るものです。仮設住宅に
けることとしました。
- ◆ キャンプでは、さっそく廊下
ズンのムードを盛りたててい



がX' mas リース 30 個を制
熊原寛玉山支所長がきのう
た。紙袋などを使って仕上げ
仮設住宅の集会所とキャンプ
はX' mas ツリーと一緒に届
などに飾って、X' mas シー
ます。

■ キャンプの「寄り添い被災地支援」活動 地元紙が現地ルポ ■

- ◆ きょう 23 日付けの地元紙岩手日報の特集記事として、もりおか復興支
援センターさんと並んでキャンプの被災地支援活動が取り上げられまし
た。2面にわたって盛岡市の復興支援策を紹介する記事の中で、同紙の
記者遠藤さんがキャンプに2泊3日滞在しボランティアと行動を共にし
ながら取材したルポを載せたものです。
- ◆ 記事では、ボランティアの古橋正義さん(栃木県)、中島悠人さん(岩手県)、
福元幸成さん(鹿児島県)や、キャンプスタッフの大井喜貴、佐々木智彦ら
が、被災地支援への思いや活動の意義などを語っています。





キャンプ利用状況 (11月25日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 4,725 名 *11/24 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 4,917 名 *11/24 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	11/25	26	27	28	29	30	12/1
曜日	金	土	日	月	火	水	木
宿泊者	20	19	14	11	12	8	8
活動者	23	21	19	12	15	18	8

FM 全国放送でキャンプ紹介される

- ◆ きょう 24 日、FM いわたのフラワーズ (flowers) の番組中、Japan Flowers Network の時間帯で、12 分間にわたって JFN 系列 38 局を通じて全国にかわいキャンプの紹介がありました。FM いわたふるさと元気隊が、今月 2 日取材したもので、この模様はすでに「さっくらスタジオ」から 7 日と 14 日に岩手県内に向けて放送されています。
- ◆ 今回は、キャンプに滞在されたかわボラさんの、国村さん(北海道)、古橋さん(活動中/栃木県)、濱野さん(千葉県)の 3 名がインタビューに応じて支援活動の思いを語ってくれたほか、番組レポーターからはキャンプの内容について詳しく紹介していただきました。



熱い思いを語る濱野さん (11/2 取材)

宮古市の用水路泥出し作業に参加

- ◆ 23 日と 24 日の両日、かわボラさんは宮古市津軽石地区の用水路の泥出し作業に参加しました。津波で用水路に流れ込んだ泥状の土砂をスコップで掻き出すもので、作業の前には胸まである胴付長靴を着用します。底に溜まった泥を持ち上げるには、腰にグッと力を入れるけっこうな重労働です。
- ◆ キャンプでは、山田町の民家の瓦礫撤去・清掃作業にも継続して参加しています。被災地のボラセンでは年末を控え、急ピッチで屋外作業を進めています。





キャンプ利用状況 (11月27日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 4,767 名 *11/26 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 4,990 名 *11/26 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	11/27	28	29	30	12/1	2	3
曜日	日	月	火	水	木	金	土
宿泊者	14	11	12	8	8	20	19
活動者	19	12	15	18	8	23	21

■ 岩手食文化研究会さん「岩手の食文化」を紹介 ■

- ◆ きょう 26 日、岩手食文化研究会(代表 菅原悦子さん/岩手大学副学長)の皆さんが、かわボラさんに岩手の食文化を紹介し交流するため、キャンプを訪れました。同会の会員さん 16 名がキャンプの食堂で調理され、活動から帰ったばかりの 23 名のかわボラさんに「岩手に残したい食材」を使った料理が振る舞われました。
- ◆ 北上市二子芋の「芋の子汁」、盛岡市玉山区の雁喰豆^{がんくいまめ}の豆腐の湯豆腐、食用菊の粕漬け、米、稗、大麦の三穀飯。さらに、スイーツとしてカボチャの丸焼きが出されました。
- ◆ 本格的な岩手の食文化を堪能し、会員の皆さんとの交流も賑やかに行われるなど、かわボラさんにとって心温まるプレゼントとなりました。



■ ボランティアの基本 ゴミは持ち帰りましょう !! ■

- ◆ ほとんどのボランティアさんは、現地の活動の際に出る弁当カウなどのゴミをキャンプまで持ち帰っておりますが、最近、現地に置かれているゴミ箱に捨ててこられる方がおります。
- ◆ ボランティアの自己完結の考え方からすると、ゴミ箱があるとしても現地にはゴミを残さないことがボランティアとしての基本的マナーです。思いは残しても、せめてゴミはキャンプに持ち帰りましょう !!



キャンプ利用状況 (11月29日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 4,796 名 *11/28 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 5,026 名 *11/28 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

日	11/29	30	12/1	2	3	4	5
曜日	火	水	木	金	土	日	月
宿泊者	13	11	10	12	44	13	47
活動者	18	21	11	11	57	45	50

■ X' mas カード、ツリー装飾グッズ届きました !! ■

- ◆ きのう 28 日、同志社女子大学(京都府)音楽学科音楽療法コース同様から、X' mas カード、ツリー装飾グッズが段ボール 1 箱届きました。X' mas tree プロジェクトに賛同された同大学の重白さん(広島県)が、大学の仲間呼びかけて集めていただいたものです。手づくりの X' mas カードをはじめ、数々のツリーの装飾グッズなどでツリーも一層引き立つものになりそうです。重白さんは、10 月に 2 週間にわたってキャンプに滞在されました。



- ◆ 12 月 3 日に、プロジェクト提唱者の知念さん(埼玉県)が宮古市生活復興支援センターに出向いて贈呈するツリーに添えて届けることとしています。

■ 大槌町「思い出の写真返却展」開催中 ! ■

- ◆ 大槌町の「思い出の写真返却展」が、きのう 28 日から 30 日まで城山中央公民館 3F 大会議室において開催されています。同町内で拾得された写真、アルバムのほか、額縁写真、トロフィー、賞状、ハガキ等で、これまで公開された吉里吉里地区や浪板地区のものも展示されています。会場では、集合写真の複写サービスも行うほか、「大切な写真の為にできること」として簡単な洗浄、保存方法をお知らせしています。
- ◆ キャンプ開設当初から、かわボラさんには継続して大槌町の洗浄、整理、保存用写真撮影作業に携わっていただいております。さようも、2 名のかわボラさんが返却展の受付等の運営支援に従事しております。



返却展会場(大槌町城山中央公民館)